

2020年11月6日

各位

会社名 テックポイント・インク
(Techpoint, Inc.)
代表者名 最高経営責任者兼取締役社長
小里 文宏
(コード番号: 6697 東証マザーズ)
問合せ先 株式会社テックポイントジャパン
代表取締役社長 蓬田 宏樹
(03-6205-8405)

業績予想の修正に関するお知らせ

2020年5月11日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」及び「2020年12月期第1四半期決算短信(米国基準)(連結)」並びに2020年8月7日に公表した「2020年12月期第2四半期決算短信(米国基準)(連結)」において、未定としておりました2020年12月期の業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

当期の連結業績予想数値の修正(2020年1月1日~2020年12月31日)

単位: 千米ドル(千円)、1株当たり当期純利益については米ドル(円)

	売上高(注1)	営業利益(注1)	税引前当期純利益(注1)	当期純利益(注1)	【参考値】株式報酬費用控除前の当期純利益(Non-GAAP指標)(注1)
前期連結実績(A)	32,027 (3,388,457)	2,395 (253,391)	2,449 (259,104)	2,194 (232,125)	3,461 (366,174)
今回修正予想(B)	32,323 (3,419,773)	2,572 (272,118)	2,804 (296,663)	2,271 (240,272)	3,528 (373,262)
増減額(B-A)	296 (31,316)	177 (18,727)	355 (37,559)	77 (8,147)	67 (7,088)
増減率(%)	0.9%	7.4%	14.5%	3.5%	1.9%

	基本的1株当たり当期純利益(注2)	希薄化後1株当たり当期純利益(注2)	【参考値】基本的1株当たり当社株主に帰属する株式報酬費用控除前の当期純利益(Non-GAAP指標)(注2)	【参考値】希薄化後1株当たり当社株主に帰属する株式報酬費用控除前の当期純利益(Non-GAAP指標)(注2)
前期連結実績(A)	0.13 (14)	0.12 (13)	0.20 (21)	0.19 (20)
今回修正予想(B)	0.12 (13)	0.12 (13)	0.19 (20)	0.19 (20)
増減額(B-A)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
増減率(%)	—	—	—	—

(注1) 当社業績予想は米ドルでおこなっております。本書において円を表示している金額は、便宜上、2020年9月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値に基づき1米ドル=105.80円で換算された金額であります。

(注2) 2020年12月期の1株当たり当期純利益予想は、基本的発行株式数の予想加重平均株式数を用いて計算しております。

2. 修正の理由

2020年2月14日に公表した2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を合理的に算定することが困難であることから、2020年5月11日付で一旦取り下げ、未定とさせていただいておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしましたので、公表いたします。なお、2020年12月期中は、新型コロナウイルスの拡大による影響は続くものと仮定した上で、この業績予想を開示いたします。

車載カメラシステム市場向け半導体製品の売上につきまして、2020年第4四半期において、2020年第3四半期と比較して、約30%増加すると予想しております。これは主に、車載機器メーカーが市場の低迷から回復し始めている中、本年度の前半において車載機器メーカーから獲得した複数の新規採用案件が量産に移行したことによるものです。車載カメラシステム市場においては、更なる新規採用案件の量産移行に伴い、増収が続くと見込んでおります。

監視カメラシステム市場向け半導体製品の売上につきまして、2020年第4四半期において、2020年第3四半期と比較して約200%増加すると予想しておりますが、2019年第4四半期と比較すると約10%減少すると予想しております。これは、北米、南米、中東及びインドにおける完成品市場が、新型コロナウイルスのパンデミックの影響により、冷え込んでいるためです。2020年第4四半期において、映像受信半導体製品の売上は、新型コロナウイルスのパンデミック以前の四半期と比較すると、約50%に落ち込んだままです。しかしながら、イメージングプロセッサ製品の売上は、顧客が、既存の製品から派生した製品を益々量産移行することで、2020年第4四半期において、過去の諸四半期と比較して約130%増加すると見込んでおります。新開発のCMOSイメージセンサー製品は、2021年下半期において収益への貢献を開始すると予想しています。

新製品開発に伴い、多大な研究開発費用が引き続き第4四半期に計上されることが見込まれるものの、第4四半期において、営業利益及び純利益を確保することが予想されます。

なお、2020年第4四半期の3か月間の連結業績予想数値は以下の通りです。

売上高	11,500 千米ドル (1,216,700 千円)
営業利益	2,141 千米ドル (226,518 千円)
税引き前四半期純利益	2,176 千米ドル (230,221 千円)
当期純利益	1,813 千米ドル (191,815 千円)
株式報酬費用控除前の当期純利益 (Non-GAAP 指標)	2,160 千米ドル (228,528 千円)
基本的1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	0.10 ドル(11 円)
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	0.10 ドル(11 円)

基本的 1 株当たり当社株主に帰属する株式報酬費用控除前の当期純利益 (Non-GAAP 指標) 0.12 ドル(13 円)
希薄化後 1 株当たり当社株主に帰属する株式報酬費用控除前の当期純利益 (Non-GAAP 指標) 0.12 ドル
(13 円)

以上